

2-11 県産材・木のビルプロジェクト推進事業

事業目的

CLT等を用いたモデル施設の建設費の一部を支援し、県産CLT等の本格利用と非住宅分野の木造化を推進することで、木造需要の創出による温暖化対策（CO2固定化）や森林資源の活用、エネルギーロスの少ない建物の普及を図ります。

事業内容

CLTやLVL等, 新たな県産木材を利用して建設される木造施設の建設費の一部を支援!

CLT建築普及促進事業

【概要】 以下のいずれかの工法に該当する木造建築物の木工事費を支援します。

- ①CLTパネル工法
(県産CLTを使用 (一部も可))
- ②全木材利用量のうち1/3以上に県産CLT・LVL等を使用する従来の工法等

【補助率】 木工事費の1/2以内 (上限5千万円)

【事業主体】 市町村, 民間事業者等

【事業量 (H29)】 2棟分程度



事業効果

CO2削減効果

700t-co2/年



[CLTを用いた木造建築物(多賀城市内)]

現 状

- 森林資源が高齢級化し、森林の成長 (=炭素固定) 量が減少
- 県産木材の利用拡大を通じた森林整備の推進が急務
- 今後の人口減少による住宅需要が減少

非住宅
分野の
木造化
を促進

税導入後のイメージ



海外の実例

Murrey Grove (ロンドン)



引用: Arch. Alberto Alessi

9階建てマンション
(ただし1F部分はRC造)



欧州や北米の様にCLT等を用いた大型木造施設が建設され、木材需要の創出による温暖化対策 (CO2固定化) や森林資源活用, エネルギーロスの少ない建物が増加します。